

みらい

令和4年度 社会福祉法人福島県福祉事業協会 辞令交付式



二列目 杉山 太遊 山田 智紀 樋口 沙枝子 松山 真紀 木村 純子 車田 かれん 鈴木 未来弥 脇本 竜成 鈴木 健司
 一列目 金沢 香澄 石井 友香 白岩 千尋 山田理事長 鈴木 桂子 齋藤 麻菜 菊地 聡子

あぶくま更生園 支援員 金沢 香澄

「社会人になるにあたり、楽しみと同時に緊張もありますが、利用者さんの意思を尊重し、寄り添った支援を提供できるよう、日々経験を積みながら、支援員として成長していきたいです。」

あぶくま更生園 支援員 石井 友香

「初めての仕事を緊張しますが、一日でも早く仕事を覚えられるよう日々精進していきたいと思っています。また、利用者さんと信頼関係を築けるように頑張りたいと思います。」

たむら地方児童発達支援センター 保育士 白岩 千尋

「子どもたちとの関わりの中で信頼関係を築きながら一人一人の思いに寄り添える援助していきたいと思っています。また、子どもたちが日々成長する姿を近くで見守りながらたくさんのことを学び、共に成長していきたいです。」

東洋健生園 支援員 鈴木 桂子

「支援員としての自覚を持ち、明るく元気に頑張ります。学生時代の学びを活かしながら、利用者さんや職員の皆さんとの関わりを通して、日々成長していきたいです。」

東洋健生園 支援員 齋藤 麻菜

「支援員として利用者さんを支えられるように、職員や利用者の皆さんから多くのことを学んでいきたいです。ご指導よろしくお願い致します。」

東洋育成園 看護師 菊地 聡子

「緊張し戸惑いも多いですが、支援員の方々と協力して業務を行っていききたいと思います。笑顔を忘れずに、利用者様には楽しい毎日を過ごして頂けるように努力していきたいと思っていますのでご指導・ご協力お願い致します。」

田村地方基幹相談支援センター 相談員 杉山 太遊

「保護犬と保護猫を飼っています。趣味は、車とドラム(楽器)です。「Take it easy!」焦らない、無理をしない、落ち着いてをモットーに笑顔で頑張っていきたいと思っています。」

東洋学園成人部 支援員 山田 智紀

「新社会人ということもあり緊張や不安はありますが、先輩方から多くのことを学び、利用者さん一人一人に寄り添った支援ができるよう努めていきたいと思っています。」

のびっこらんど原町 言語聴覚士 樋口 沙枝子

「社会の状況は常に変化していて、子どもたちを取り巻く環境も日々変わっています。日々学び、その時々によりよい支援ができるように努めたいと思います。」

相談支援田村事業所 相談員 松山 真紀

「利用者様の本音に寄り添える相談員になれるよう、想像力と知識を身につける努力を惜しまずに、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。」

多機能型事業所 田村 看護師 木村 純子

「今まで様々な診療科を経験してまいりました。ご利用者様、ご家族様のために今までの経験を活かして心から支援できるように考えております。よろしくお願いいたします。」

のびっこらんど泉 言語聴覚士 車田 かれん

「初めてのことはかきでとても緊張していますが、笑顔を保ちながら、お子さん一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、皆様から信頼していただける言語聴覚士になれるように毎日精進していきたいと思っています。」

東洋学園成人部 支援員 鈴木 未来弥

「これから利用者さんと関わる上で、至らない点が多々あると思いますが、先輩方や利用者さんから常に学び続け、利用者さんに寄り添えるように頑張りたいと思います。これから宜しくお願い致します。」

原町共生授産園 支援員 脇本 竜成

「初めての仕事に対する不安や緊張もありますが、利用者さん一人ひとりへの理解を深め、信頼される支援員になれるよう頑張ります。」

就労継続支援B型事業所せきれい 所長 鈴木 健司

※P9の新任所長のあいさつでコメントしています。



「相双地域障害者総合支援センター」

住所：南相馬市原町区桜井町一丁目99
TEL 0244-24-3553

当センターは、相双障害者就業・生活支援センター、相談支援相馬事業所、グループホーム原町事業所で構成され、就労やお子さんの成長、就学、地域での生活などに関する様々な悩みや課題に対応、支援する総合窓口です。今回の事業所の新築移転により、就労継続支援B型事業所「ワークスペース・アシスト」と障がい児通所支援事業所「のびっこらんど愛愛」が同一敷地内になったことで、よりタイムリーできめ細やかな相談対応が可能となります。

また、会議室が設置されたことにより、研修や地域の課題検討、ケース会議など幅広く開催できるようになります。今後も地域の中核的な相談支援機関として、相談者の方の様々な悩みや思いに寄り添いながら希望に沿った生活が実現できるようにお手伝いしますので、引き続きご支援、ご協力をお願いします。



就労継続支援B型事業所 「ワークスペース・アシスト」

住所：南相馬市原町区桜井町一丁目99
TEL 0244-26-3338

利用者、職員共に待望の新しい施設が完成しました。ワークスペース・アシストの作業スペースは、作業室が2か所と調理作業室があります。特に調理作業室は広々と衛生的で作業環境・機能性が向上しており、更においしいお弁当づくりが出来る環境が整いました。また、主に軽作業を行う部屋は天井が吹き抜けで開放感があり、落ち着いた環境で作業訓練ができます。今後は、日中活動の支援充実と、就労を目指す方々には、建屋が一緒になった相双地域障害者総合支援センター機能と、密に連携を図り、更に円滑な支援サービスを取ることが可能となります。利用者の方々に、健康的で潤いある日中作業活動を行えるようにするとともに、これからも地域福祉の増進に寄与してまいりますので、今後とも皆様の一層のご指導、ご鞭撻、ならびにご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

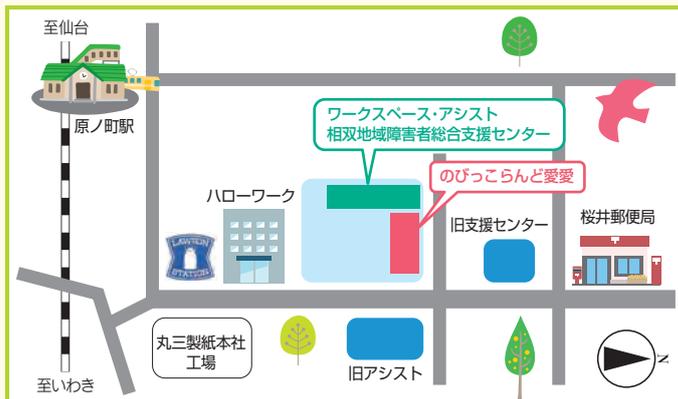


「のびっこらんど愛愛」

住所：南相馬市原町区桜井町一丁目99
TEL 0244-23-4690

南相馬市原町区青葉町に平成16年から17年間にわたり事業を展開してきた「のびっこらんど愛愛」が、令和4年3月23日同じ原町区の桜井町に移転し開所致しました。交通の便が良くなったこと、開放的な外観などで、保護者様からは「とても入りやすい」と好印象をいただいています。事業所内は各部屋が広くなり、プレイルームにはこれまでの大型遊具に加え、ホーススイング(丸太状の大型ブランコ)を設置し、より厚みのある支援が行えるようになりました。また、相談事業所と隣接していることで、連携してお子さんのニーズに対応しやすくなりました。

お子さん達が楽しみながら力を伸ばし、保護者様の安心と信頼を得られるよう、ますます励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



特集2 田村市内で新事業所開所及び2事業所の移転のお知らせ

新事業所

「たむら地方児童発達支援センター」開所



田村市にありますのびっこらんど船引の体制と名称を変更し、4月1日から「たむら地方児童発達支援センター」として事業スタートいたしました。管理者の持館純子(3月まで「のびっこ美山」所長)と、4名のスタッフ計5名でお子さんの発達支援を行います。

よろしくお願いたします。

看護師も常勤いたしますので、医療的ケアの必要なお子さんにも安心してご利用になれます。

未就学児対象の児童発達支援、学童児対象の放課後等デイサービス、スタッフが訪問して支援する保育所等訪問支援の3つが主な事業となります。地域に愛されるセンターにしたいと思います。お子さんの発達について何か心配なことがありましたら、お気軽に声をかけてください！

***住所・電話番号は「のびっこらんど・船引」のときと同じです。**

住所: 田村市船引町北鹿又字沼ノ下121-190
TEL 0247-73-8056



「田村地方基幹相談支援センター」 「相談支援田村事業所」が 事業所移転しました！！



田村地方基幹相談支援センター
スタッフ



相談支援田村事業所
スタッフ

今年度より、法人内に田村市からの委託を受けた「児童発達支援センター」の開所に伴い同じ敷地内に移転しました。これにより相談窓口が一本化され、療育を利用する児童・保護者様が安心して利用・相談できる体制が整いました。

また、田村地方基幹相談支援センターと相談支援田村事業所、共に2名体制から3名体制へと増員・強化されましたので、地域の障害児・者に対してより手厚い支援ができるようになりました。

※前の「のびっこ・船引」のところ

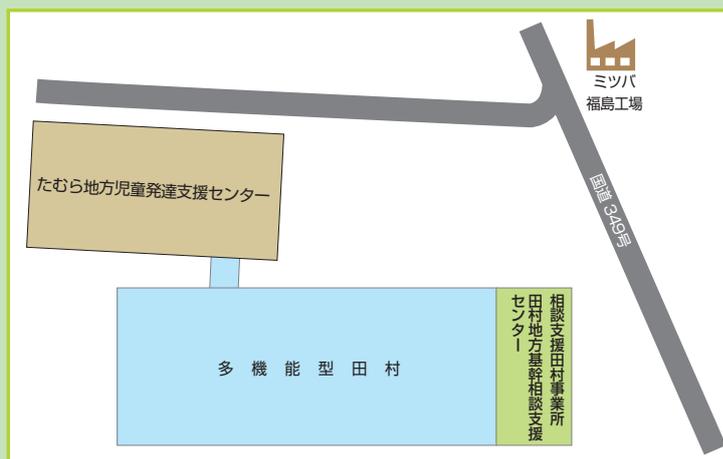
移転先: 田村市船引町北鹿又字沼ノ下121-190

***電話番号は変更ありません。**

- 田村地方基幹相談支援センター TEL 0247-61-5056
- 相談支援田村事業所 TEL 0247-61-5071

※現在田村市大越町で事業展開している**多機能型事業所・田村**も4/23引越して4/25から新しい事業所でスタートします。

TEL 0247-61-7701



障がい者入所支援施設

東洋学園成人部 いわき市(四倉町)

桜が咲きました!

学園にも、桜が咲きました🌸「お花見、行けるかな。」「夜の森の桜、綺麗だったよね。」等と会話も弾み、自分の好きな色紙でペタペタと貼り付けて完成。「みんなちがって、みんないい。」見ているだけで心が和みます。桜を見に行くのが待ち遠しいです。



東洋健生園 いわき市(内郷)

お花見に出発!!

4月6日

4月6日(水)にお花見ドライブで、市内の三崎公園に出かけてきました!当日は気温も上がり、春本番の陽気でした。咲き初めの桜をバスの中から楽しむことができました!久しぶりの行事ということもあり、数日前から皆さん楽しみにしている様子でした。健生園に戻り、芝生の上でお弁当を食べました。1日天候にも恵まれ、楽しい行事となりました!!



東洋育成園 田村市(船引町)

東洋育成園では、2月にたこ焼き作り、3月にひな祭り会がありました。たこ焼き作りでは、作れる人が集まり材料を混ぜたり、たこ焼きを焼きながらクルクルと回し楽しむことができました。ひな祭り会では、ロールケーキにデコレーションをしケーキ作りを楽しみました☆皆さん、美味しくいただき楽しい時間を過ごすことができました!



あぶくま更生園 田村市(船引町)

髪の毛も顔もさっぱり!!

4月5日

4月5日(火)令和4年度初の散髪支援を園内にて実施しました。いつもお世話になっている3名の理容室の方に足を運んで頂き、みなさん髪の毛も顔もさっぱりされ「ありがとうございました」「さっぱりした」「写真撮って」等の喜びの声が多数聞かれました。感染症が落ち着いたら、実際にお店に行き散髪が出来ることを利用者さんは大変心待ちにされています(´ω`*)



原町共生授産園 南相馬市(原町区)

ロールサンドづくり

3月24日

3月24日(木)、巻くだけ簡単ロールサンドを作りました。季節のフルーツ&ホイップクリームと、ハムチーズの2種類を作りました。サンドイッチ用のパンは地元の老舗パン屋さんをお願いした馴染みの味。サンドイッチ作りは皆さん初体験。作る前はワクワク。しかし…、作り始めると「上手く巻けないよ～」と多くの利用者さんがあたふた(; ;;)皆さん、普通のサンドイッチ型、オリジナル型になりましたが…、な、なんとか完成(;^ω^)。どんな形であれ、自分で作った出来たては美味しいようで、パクパク、ペロッと完食していました。「花見できるといいなあ」との声も。新型コロナウイルスの状況が落ち着き、利用者の皆さんと安心して外出や花見が出来る日が待ち遠しいです。



福祉型障がい児入所施設

東洋学園児童部 いわき市(四倉町)

卒業式シーズン

暖かな風が吹き、桜の花もぼつぼつと咲き始めた陽気に、子どもたち11名が、支援学校・支援学級・幼稚園を卒園・卒業しました。初めてのことに不安と期待がいっぱいだったところから、心も身体も大きくなり、とても頼もしい姿で証書を受け取っていました。4月から新しい場所で、新しいお友だちと楽しい生活になるように祈っています。



原町学園 相馬市

納会～1年を振り返って～

3月25日

3月25日(金)に年度末恒例行事となる納会を行いました。例年であれば、外出に行ったり、テイクアウトを取ったりしていましたが、今回は地震の影響によりすべてキャンセルに…。コンビニで各自好きなお弁当を購入し、昼食を皆で食べました!ご飯を食べた後は、1年を振り返っての反省会を行い、今年度頑張ったことや、来年度に向けて抱負を発表しました。皆さん考えた抱負に向かって頑張りたいですね!職員も抱負を発表し、仕事のことからプライベートなことまで様々な発表があり盛り上がりました。令和4年度もみんなで頑張っていきましょう!



障がい児通所支援事業所

のびっこらんど いわき市(久之浜町)

春はすぐそこ!

中庭に出ると、日差しがぼかぼかと暖かく、春の気配を感じますね。絶好のシャボン玉日和になりました。

子どもたちがふーっと割れないように優しく息を吹くと、大きなシャボン玉ができました。そのシャボン玉をふっと吹く風が空へ連れて行ってくれます。それを見た子どもたちは、わっと元気にシャボン玉を追いかけていました。



3月17日

のびっこらんど悠悠 いわき市(平)

ペアレント・プログラム講座

令和3年8月
～
令和4年3月

令和3年8月から令和4年3月まで、6回シリーズで、ふくしま心のサポートセンター川島慶子先生を講師にお招きし、のびっこらんど・のびっこらんど悠悠合同でスタッフ及び保護者の方を対象に勉強会を行ないました。日頃の悩みを共有したり、自分を誉める、お子さんを誉める事の大切さを学びました。お母さんお父さん、スタッフが笑顔で子育てできるように…♡



のびっこらんど田村 田村市(船引町)

3月、令和3年度にお勉強した教材をまとめた作品集の表紙作りに取り組みました。午前の集団では手形スタンプを、午後の集団と学童さんはおえかきを行いました。

皆さん、1年間本当によくがんばりました。令和4年度もたくさんお勉強をしてたくさん遊びましょう!



3月

のびっこらんど泉 いわき市(泉町)

日々の活動紹介

3月

のびっこらんど泉では、様々な活動を行っています。制作では折り紙やシールを使って蝶を作りました。カラフルで素敵な蝶がたくさんできました!ねんどではシートに合わせてカメレオンの舌を作ってみよう、とそれぞれ考えてカメレオンの作品を完成させていました。また、ホーススイングではバランスを取りながらスタッフと一緒に楽しく取り組みました。今後の活動も楽しみです♪



のびっこらんど相馬 相馬市

6年生を送る会

3月21日

3月21日(月)、3月でのびっこらんど相馬を旅立つ7人を迎え、「6年生を送る会」を実施しました。地震が続く中で長時間の滞在は心配もありましたが、みんな集まって気分は卒業式♪スライドショーで思い出が詰まった写真を鑑賞して、いよいよ卒業証書授与式。みんなの成長を感じる時間でした。

中学校でのこれからの活躍を「のびっこらんど相馬」からずーっと応援しています。今まで楽しく通ってくれてありがとう!



のびっこらんどキララ 相馬市

避難訓練

3月7日
3月11日

3月7日(月)~11日(金)を避難訓練週間にし、子どもたちに事前予告をせず実施しました。地震速報の音を聞いてほとんどの子どもたちが机の下に隠れる事が出来ましたが、なかにはパニックになって怒ってしまう子どももいました。地震速報の音はいつ聞いても怖いですね(´;ω;))

いつ、どんな時に起こるか分からない地震。想定外の事への対応も少しずつ身に付けていけるように、これからも訓練していきましょう。



のびっこらんど愛愛 南相馬市(原町区)

壁面制作【ちょうちょ&さくら】

4月

4月の壁面制作を行いました。未就学児さんのちょうちょ作りは、ペンでお顔を描き、モールとシールで、からだを飾って、色とりどりの、いろんな表情のちょうちょさんができました。学童のお子さんは桜の木を作りました。花はお花紙で作り、木の幹は画用紙を千切って、何枚も重ねて立体になる様に作りました。新しい愛愛を、みんなで作ったたくさんのちょうちょと立派な桜の木が華やかに彩りを添えてくれています。



のびっこらんど原町 南相馬市(原町区)

卒園式

3月28日

3月28日(月)今年には6年生が多い年だったので、普段は違う利用日の6年生もお誘いして「卒業式」を行いました。卒業生の入場から始まり、1人1人に卒業証書を手渡すシーンではスタッフも思わず目頭が熱くなりました。別れの言葉もとても上手でしたね。4月からは中学生。のびっこで学んだことを活かしていろいろなことに挑戦してください。応援しています!!



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

のびっくらんど三春 田村郡(三春町)

令和3年度ラスト!こんなことをしました♪

1年の集大成ともいえる3月!
 3月もいろいろな課題に取り組みました。
 4月当初は、課題を“楽しむ”ことが難しかったお子さんも、様々なものに触れて、見て、聞いて、経験することで楽しんで活動に参加できることが増えました。
 今後も、たくさん学んで、遊んで、心身ともにバランスのよい発達をサポートしていければと思います。
 令和4年度も、のびっくらんど三春をよろしくお願いいたします!



3月

のびっくらんど美山 田村市(船引町)

はじめまして

4月4日は学童さんの初顔合わせ。新しいスタッフと新1年生、初めて見るお友達を迎えて「自己紹介」を行いました。
 緊張した面持ちでしたが「あたらしいお友達と一緒にあそぶんだ!」と楽しみにしている様子。遊びの時間になると積み木やピアノと一緒に遊びました。これから1年間よろしくね!



4月4日



就労支援事業所・多機能型事業所

おおくま共生園 田村市(船引町)

ひな祭り・震災復興・慰労会

3月17日

令和3年度最後の行事となりました。
 1年間の集大成という事で、知育クラブでは自分で作成した物や1年間頑張ったことを発表したり、一人一人来年度の抱負を発表したりして、幸楽苑のラーメンやお菓子を食べ、カラオケをして今年度を振り返りました。



JKA補助事業自己評価表

おおくま共生園では、2021年度JKA(競輪とオートレース)補助事業により、昨年11月にクリーニング作業で使用するロールアイロナー、サーモルーフの大型機械を導入しました。この機械の効果により、作業環境が大幅に改善されたことを自己評価表としてお知らせします。

事業内容	実施計画・体制	達成状況		具体的内容	採点
		達成値	達成状況		採点
		2021年12月	100%	・1月の稼働を目標に事業を進め、12月11日に設置、12月12日に検収を終え、無事稼働できた。	4
		210枚	84%	・1時間当たりの仕上げ量を250枚に設定したが、利用者が新規機器の取扱いに慣れるまで時間がかかり、まだ目標値には達成していない。	3
		(1)1回 (2)1回 (3)1回	(1)100% (2)100% (3)100%	(1)協会ホームページに掲載。 (2)協会広報誌「みらい」へ掲載。 (3)2月1日発行の福祉新聞へ掲載。	4
		(1)1回 (2)1回 (3)1回	(1)100% (2)100% (3)100%	(1)協会ホームページに掲載。 (2)協会広報誌「みらい」へ掲載。 (3)2月1日発行の福祉新聞へ掲載。	4
		理事、事務局長の2名で評価を行い、結果を協会広報誌「みらい」4月号に掲載。			4
令和4年3月14日 上記の項目を厳正に審査した結果、以上の評価となりました。 社会福祉法人 福島県福祉事業協会 理事					4

多機能型事業所 田村 田村市(大越町)

令和4年度も頑張るぞ!!

3月30日(水)、年度末を迎え、「一年間、皆さんお疲れ様でした」の気持ちを込めた慰労会を行いました。利用者の一人、一人が目標に向けて、お仕事や日々の活動に取り組まれた一年の頑張りを大きなエビフライと唐揚げが入った美味しいお弁当を食べて労いました!令和4年度も、決意新たな年で元気いっぱい、楽しい毎日を送りましょう♪



3月30日



ワークスペース・アシスト 南相馬市(原町区)

4月1日(金)より2名が加わり、令和4年度は31名でのスタートとなりました。

4月1日

新しい施設に移り、部屋やロッカーなどの利用によりやく慣れてきたところです。4月2日(土)には、ピッカピカの施設をバックに記念撮影をしました。その後、寿司やオードブルで食事会を実施し、美味しい食事となぞなぞや歌まねなどの余興を楽しみました。

最後に、自治会会長より、今年度も楽しい行事を会員と楽しみたいとの挨拶をいただきました。



せきれい いわき市(四倉町)

送別会を行いました♪

年度末に退職・異動する職員へ利用者自治会主催で送別会を行いました。

職員よりご挨拶を頂き、最後のお別れに涙を流してしまう利用者さんもありましたが、笑顔で見送ることができました☆彡

新天地での活躍を願っています😊



3月31日



地域生活支援事業所

田村地方基幹相談支援センター 田村市(船引町)

田村地方 障がい者虐待防止センター活動について

私たち田村地方基幹相談支援センターは、権利擁護・虐待防止の役割として、障害者等に対する虐待を防止するための取組(障がい者虐待防止センター機能)を市町村より受託しております。障がい者虐待における通報・相談窓口として24時間対応を整備するほか、令和4年度より障がい福祉サービス事業所へ設置が義務化される虐待防止委員会や身体拘束適正化委員会における研修の機会を設け、虐待防止に向けた人材育成が求められております。田村地方の障がい者虐待をゼロにするべく、支援者支援や支援の内省的機会として、令和4年度からは事業所訪問型の事例検討会等を実施していきたいと思っています!





異動職員勢揃い！新しい職場でも頑張るぞ！！

**R4.4.1付け
新任所長の
あいさつ**



就労継続支援B型事業所「せきれい」所長 兼
共同生活援助事業所「グループホーム浜事業所」所長

鈴木 健司

私は長年住宅設備機器メーカーに在職しておりましたが、今般縁あってお誘いをいただき、事業活動の社会的意義を考え、「慈」・「敬」・「愛」の協会の基本理念に共感して入社を決断し、せきれい所長兼GH浜事業所所長を拝命いたしました。

障害福祉サービス事業については全くの素人ですが、工場管理の経験を活かすとともに、ガンジーの「永遠に生きるつもりで学べ」の精神で勉強し、誰もが居場所と役割をもって自分らしく地域で安心して暮らせる社会づくりに貢献すべく尽力する所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

障がい児通所支援事業所
「のびっこらんど(久之浜)」所長

平栗 梨紗

平成9年の開所から休止や移転を経て、たくさんのお力添えを頂きながら、のびっこらんどは今年で開所25年を迎えます。歴代の職員の想いを大切に引き継ぎ、こどもたちの心に寄り添いながら、発達段階における様々な課題にともに向き合い、一人ひとりに合わせたオーダーメイドの支援で豊かな成長を支えることに尽力いたします。同時に、こどもたちが備え持つエネルギーを大事にふくらませながら、自分らしくいきいきと生きる未来へとつなげていきます。顔ぶれ新たに、職員一同力を合わせて歩んで参ります。皆様、何卒よろしくお願いいたします。

障がい児通所支援事業所
「のびっこらんど美山」所長

二瓶 恵

この度、のびっこらんど美山の管理者となりました。言語聴覚士としてお子さんと接しています。お子さんの表情、身振り、ことばなど今持っているコミュニケーション方法で気持ちが分かり合えた瞬間や成長に立ち合えることに喜びを感じています。お子さんの得意な所を大事にしなが、発達や思いに寄り添い、「できた」「わかった」「楽しかった」と笑顔が溢れる環境を作っていけたらと思います。スタッフと協力し、保護者の皆様とお子さんの成長を共に喜び合えるように励んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

オープン1か月が経ちました!

児童発達支援のお子さんは、始めは母子登園でご利用されていましたが、今では、一人で泣かずに立派に登園できるようになりました。また、放課後等デイサービスのお子さんたちは、さすがお兄さんお姉さんで環境への適応能力が高く、皆さんすぐに慣れて通うことができました。まずは、当事業所に慣れることを目標にしていたのですが、今後は、お子さん一人ひとりに合わせた療育に更に力を入れていながら、様々な活動を取り入れていきたいと思っております。

4月から新採用として言語聴覚士が1名着任致しました。新たに職員を迎え、更に質の良いサービスを提供できるよう、職員一丸となり、療育させていただきたいと思っております。今後ともご理解・ご支援頂きますようお願い申し上げます。



利用者コーナー

原町共生授産園

新自治会役員の方の抱負



原町共生授産園では、私たち利用者でつくる自治会があります。毎年3月の選挙のときに利用者の皆さんの投票で、新しい役員を決めます。今回、当選した役員で、新年度にやりたいことを話し合いました。

- ◎「ミニ盆踊りを企画したい、皆の見守りを頑張りたい」(藤田勝一さん/会長)
- ◎「積極的に活動に取り組んで、皆を支えたい」(高橋成子さん/副会長)
- ◎「皆仲良く生活してもらいたい」(平野良平さん/監事)
- ◎「任された仕事は話を聞いて頑張りたい」(三川幸さん/書記)

といった意見が出ました。職員に相談や報告をしながら、利用者さんが楽しく過ごせるようにしていきたいです。

取材:原町共生授産園自治会新役員の方皆さん

〈入職者〉 せきれい 支援員 鈴木 大 空

寄贈

クッキーを頂きました♪

〈せきれい〉 NPO法人「よつくらぶ」さんより地元の福祉施設の皆さんへとクッキーの差し入れを頂きました。たくさんのクッキーを頂き、ありがとうございました😊



寄付金を頂きました♪

〈東洋学園児童部〉 3月30日に(獺猪狩商店様より施設運営、利用者さんのために寄付金をいただきました。コロナ禍の中、利用者さんが楽しめるような企画をし、笑顔が溢れる生活になるよう取り組んで行きます。心温まるご支援ありがとうございました。



編集後記

4月号恒例の「辞令交付式」を特集しました。新採用職員は15名(男5・女10)で、うち新卒者11名、既卒者4名です。新卒者11名の卒業学校種別では、4年制大学6(うち大学院1)、専門学校3、短大2、資格免許別では、社会福祉士4、言語聴覚士2、心理士・保育士・児童指導員・介護福祉士各1などとなっています。昨年も新卒者を12名採用していますので、若い力で組織の活性化と更なるレベルアップを図りますのでご期待ください。

また、新年度にあわせて南相馬市原町区における3事業所の1区画への集約的な新築・移転、田村地区における事業所新設に伴う相談系事業所の充実・強化などを図り、関連するサービスを一体的に、総合的に提供するとともに事業所環境を整備しサービスの向上に努めます。引き続きご意見、ご要望をお寄せください。